



地域連携教育再加速フォーラム

令和6年1月20日（土）に山口県セミナーパークにて、「地域連携教育再加速フォーラム ～であうつながる まなびあう～」を実施しました。当日は小・中学校、高等学校、総合支援学校の児童生徒及び保護者、学校関係者、地域関係者、行政関係者等を含む800人を超える方々に御参加いただきました。県内各地で行われている地域連携教育の取組の共有や熟議での議論を通して、参加者のつながりが深まるとともに、講義・講演では新たな知見が得られるなど、持続可能な学びの循環に向けた体制の構築につながる、まさに「再加速」にふさわしいフォーラムとなりました。当日の様子を紹介します。

ポスターセッション

■「やまぐち型社会連携教育推進事業」実施校と発表テーマ

☞ 「総合的な探究の時間」を中心に学びを深めたことについてまとめ、発表しました。

□県立周防大島高等学校	「周防大島の課題とその対策」
□県立岩国高等学校広瀬分校	「地域ではたらくことについて考えよう（錦町の仕事図鑑）」
□県立岩国総合高等学校	「地域探訪 ～岩国の現状と課題の解決策について～」
□県立高森高等学校	「世界に獺祭を ～岩国を越えてその先へ～」
□県立岩国工業高等学校	「地域を支える産業人育成を図る地域連携推進プロジェクト」
□県立柳井高等学校	「高校生が提案する『小学校における効果的なICT活用方法』」
□県立田布施農工高等学校	「農工維新！田布施あい ³ （あいキュービック）プロジェクト」
□県立光高等学校	「光市が住みたいと思われる街になるための質問・提案・企画を発表」
□県立華陵高等学校	「高校生主催のマルシェで地域活性化大作戦」
□県立新南陽高等学校	「無敵の笑顔でひらくミライ ～知りたいその仕事ミステリアス～」
□県立防府高等学校佐波分校	「放置竹林解決のための活動について」
□県立山口農業高等学校西市分校	「地域の食材を活用した商品開発 ～豊田町の魅力ましまし大作戦～」
□県立宇部中央高等学校	「宇部から未来につながる食育」
□県立小野田工業高等学校	「地域のために私たちができること探し ～工業高校の強みを活かして～」
□県立美祢青嶺高等学校	「美祢市探究プロジェクト インスタフォローで100円引き！」
□県立長府高等学校	「我らが長府の！食品ロス問題！？」
□県立大津緑洋高等学校	「つながりとかけざんで愛さずにはられないまちにし隊！」
□県立萩高等学校	「萩着物ウィーク」
□県立下関中等教育学校	「カナダで学んだマルチカルチャリズムとSDGs」



■「子どもが地域の先生プロジェクト」実施校と発表テーマ

☞「子どもも大人も学び合い育ち合う取組」について実施したことをまとめ、発表しました。

□岩国市立由宇中学校	「運動・スポーツで、地域を元気いっぱい！」
□柳井市立日積小学校	「ひづみは づーっと みんなのふるさと」
□周南市立周陽中学校	「地域総合防災訓練を通して、大人も子どもも見つめる『地域の自分』」
□山口市立平川中学校区	「平川地域あいさつ活性化運動『平川あいさつロード』」
□宇部市立藤山中学校	「住みよさ日本一の藤山をめざして」
□下関市立豊北小学校	「ふるさと探究『自分の言葉でふるさとの自慢ができる』」
□萩市立むつみ小学校	「むつみを元気に！子どもたちの挑戦が地域の活性化や自分の成長へ」



県立田布施総合支援学校 高等部 はぐくみ Café

☞県立田布施総合支援学校による喫茶サービスを実施しました。



熟議

☞児童生徒を交えたグループ熟議を実施しました。

【熟議テーマ】

- 子どもも大人も学び合う
社会の実現に向けてできること
- ともにつなげよう！子どもたちの学び
- ともひろげよう！子どもたちの世界



講義・講演

☞山口県の地域連携教育を再加速するための貴重なお話をいただきました。



「『総合的な探究の時間』において大切にしたいこと」
福井県教育委員会高校教育課
参事 渡邊 久暢 様



「CS経営について」
文部科学省総合教育政策局
CSマイスター 小西 哲也 様



「山口県の地域連携教育へのさらなる期待」
文部科学省大臣官房
審議官 安彦 広斉 様

【参加者の感想】

- 子どもたちのポスターセッションが大変素晴らしかったです。自信をもって堂々と発表する姿に、地域連携教育のめざす子どもの姿を見ることができたように思います。また、熟議や講義も、自分の考えを深めるのに役立ちました。
- 高校生で参加しました。私たちの活動を学校や地域のみで留まるのではなく、多数の学校と地域・教育関係者の方とセッションできて大変有意義な時間を過ごすことができました。



やまぐちCSプレゼンツ 2023

児童生徒、CS関係者や教職員等が学校や地域の魅力を伝えるプレゼン動画の作成と活用を通して、CSとしての学校運営の一層の充実と学校の特色化・魅力化を図るために、「やまぐちCSプレゼンツ 2023」を実施しました。プレゼン動画からは、各学校や地域の魅力が十分伝わってきます。今年度末まで、右の二次元コード（または、当課のホームページ）から応募校全てのプレゼン動画を視聴することができますので、ぜひ御覧ください。



祝 推奨校 下松市立下松小学校



児童会目標を軸にした取組やランドデザイン子ども版の作成などを通して、子どもたちが主役となり、地域の方も一緒にあった学校づくりが行われています。

祝 奨励校 柳井市立柳井小学校



各学年と地域が連携した取組が充実しています。学校運営協議会や学校応援団だけでなく、柳井市内の中学校・高等学校との幅広い連携が具体的に行われています。

祝 奨励校 周南市立太華中学校



小中合同熟議等を通して全校生徒が主体的に課題解決を図り、学校と地域が連携して学力向上やふるさとプロジェクト等に取り組んでいます。

祝 優良校

県立周南総合支援学校



ちいき しょうちゅうがっこう ごとうさくびんでん
地域の小中学校との合同作品展

岩国市立宇佐川小学校



持続可能な継承 へうさまるプロジェクト
岩国市立宇佐川小学校

岩国市立川上小学校



読み聞かせボランティア (川上ふれんず)
岩国市立川上小学校

和木町立和木小学校



和木町立和木小学校

周防大島町立三蒲小学校



15年くらい前から毎年ここでやっております。
周防大島町立三蒲小学校

上関町立上関中学校



上関町立上関中学校

田布施町立田布施中学校



いろいろな人におすそ分け
田布施町立田布施中学校

平生町立佐賀小学校



ありがとうの会 2学年3・4年生
学校運営協議会委員 坂本 治生 様
平生町立佐賀小学校

光市立浅江小学校



「地域が大好きな子ども」
光市立浅江小学校

山口市立大殿小学校



年齢を跨いで大殿地域の人たちの力を借りて
山口市立大殿小学校

山口市立秋穂小学校



地域で子どもを育む
山口市立秋穂小学校

山口市立串小学校



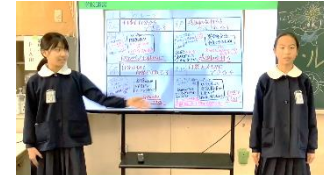
秋の収穫祭
山口市立串小学校

山口市立大殿中学校



大殿中学校はコミュニティスクールの活動を推進しています。
今日は新入生のみならず、大殿中学校が取り組んでいる地域連携活動、コミュニティスクールについて知ってもらいたいと思います。
山口市立大殿中学校

防府市立新田小学校



防府市立新田小学校

防府市立佐波小学校



地域の方もいっしょに考えました。
防府市立佐波小学校

宇部市立原小学校



先輩たちの志をつなぐ
令和5年 原っ子宣言
原っ子宣言改訂版
宇部市立原小学校

山陽小野田市立高泊小学校



山陽小野田市立高泊小学校

山陽小野田市立出合小学校

山陽小野田市立出合小学校

美祢市立大嶺小学校

④今、私たちにできることは何か？
100周年
夏休みアートプロジェクト (ゆめみっけ協議会)
美祢市立大嶺小学校

美祢市立伊佐中学校

ジオ学習(美祢学)
美祢市立伊佐中学校

3

美祿市立麦川小学校

突然ですが...
20年後、私たちのふるさと
麦川地区は、どうなっ
ていてしょう？



長門市立明倫小学校

大津緑洋高校の先輩からもおむすびを試食
してもらいアドバイスをもらいました！！



下関市立岡枝小学校

岡枝小コミュニティ・スクール
地域とともにある学校
学校に地域の人が集う岡枝小！



長門市立日置中学校



下関市立長府中学校

今長府中で進めていること



阿武町立福賀小学校



萩市立椿西小学校



令和5年度「わが家のやくそく大作戦 冬休みチャレンジ」 集計結果

「わが家のやくそく大作戦 冬休みチャレンジ」では、多くの家庭から御応募いただき、親子の約束を決めて実行していただきました。教職員の皆様には、お忙しい中、応募の取りまとめをしていただき、ありがとうございました。

本課ホームページには、応募の中から、各学年1名ずつどのようなチャレンジをしたのかを掲載しております。右の二次元コードから御覧ください。



わが家のやくそく大作戦
冬休みチャレンジ
Webページ
二次元コード

	小学生	中学生	計
冬休みチャレンジ応募者	9,405人	2,982人	12,387人



ホームページに記載しているチャレンジをいくつか紹介します。

学年	小学校 3年生
やくそく	毎日、家族みんなと遊ぶ。
児童の感想	毎日ではできなかったけど、土・日曜日にまたできたらいいなと思っています。みんなで遊んでいつもより盛り上がって楽しかったです。
保護者の感想	「毎日、みんなで」がむずかしかったですね。小さい妹も一緒に遊びができるように考えてくれてありがとう。これからも家族みんな楽しんで生活していきましょう。
学年	小学校 6年生
やくそく	健康のために、外で歩いたり、家の中で運動する。
児童の感想	姉と一緒に楽しく体を動かすことができました。学校の話や部活の話などたくさん話すことができたので、うれしかったです。
保護者の感想	寒さに負けず、姉と一緒にランニングしたり、自転車に乗ったり、家の中でもしっかり体を動かし、汗をかいていました。お互いが刺激あっていて、とても楽しそうに過ごしていました。
学年	中学校 2年生
やくそく	地域の行事に積極的に参加する。
生徒の感想	友だちと地域の行事に参加して、普段できないことができ楽しかったと感じたし、年代が違う人たちともかかわることが大切だと気づきました。
保護者の感想	地域の人には学校の登下校をはじめ、普段から助けられています。感謝の気持ちを忘れずに過ごしてほしいです。

家庭教育支援チーム



「家庭教育支援チーム」とは、学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関等と連携・協働しながら、子育てや家庭教育についての相談活動や講座等を実施し、子育てや家庭教育をサポートするために市町等で編成されたチームのことです。

現在、全市町に家庭教育支援チームが立ち上がり、保護者への学習機会の提供や親子参加型行事の開催、相談活動などの取組を中心に、多様な取組が実施されています。

家庭教育の充実を図るため、家庭教育支援チームの積極的な活用をお願いします。詳しくは、各市町教育委員会社会教育・生涯学習主管課へお問い合わせください。

活動の例

子育てカフェ、子育てサロン、子育て講座、ふれあい体験、家庭訪問、子育て相談会、情報誌発行 など

取組の様子



子育てカフェ



子育て講座



ふれあい体験



子育て講演会



家庭訪問



社会教育主事の養成

令和5年度の社会教育主事講習が開催され、山口県からは、九州大学、広島大学、島根大学、岡山大学、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターの5会場で31名が受講しました。

社会教育主事は「社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与える」ことを職務としており、学校教育以外の教育を推進する役割をもちます。講習では、社会教育主事に必要な資質や能力、その役割等について、講義や視察等を通して学び、その内容を個人やグループでレポートにまとめました。

令和2年度から、本講習を修了した者は社会教育士の称号を得ることができ、社会教育主事の発令がなくても、地域の中での様々な場面で社会教育を推進する人材として重要視されています。

社会教育人材を養成することは、本県の取組である山口県の地域連携教育の推進につながることを期待されることから、今後も社会教育人材である社会教育主事（社会教育士）の養成に努めていきます。

【受講生の感想】

- 学校関係者だけではなく、行政関係の人やNPO職員、一般の人も参加していて多くの人の意見を聞くことができ深い学びとなった。
- 学校教育とは違う視点で社会を捉えられるようになってきたと思った。社会から見ると学校がいかに狭いかも分かったし、行政から社会を見たことがなかったので、日々新しいことを勉強することができた。また、自分の所属する地域連携について見つめ直すきっかけになった。

“島じゅうキャンパス”魅力発見エコツアー



地域の特色を生かしたエコツアーを通して、自然環境や歴史文化等を体験しながら学ぶことで、自然や文化を守り、未来への遺産として引き継いでいく活力ある地域人材を育成するという趣旨の下、“島じゅうキャンパス”魅力発見エコツアーを実施しました。12月23日(土)～25日(月)の2泊3日のプログラムに県内各地の小学4年生～中学生22名が参加し、みかん・文化・自然をテーマとした様々な体験を通して、周防大島への理解を深めました。

【概要】

1日目	・オリエンテーション、仲間づくり ・焚火、焼き芋	
2日目	・グループ別エコツアー	
	Aグループ	みかん収穫体験、ジュース・ジャム作り、缶詰デザイン
	Bグループ	フラダンスレッスン、ハワイ移民資料館見学、レイ作り
	Cグループ	巖門・真宮島で材料集め、クリスマスリース作成
	・みかん鍋材料調達、調理	
3日目	・エコツアー発表会	

1日目		2日目	
オープニングセレモニー	焚火で焼き芋に挑戦	みかん収穫体験	
			
2日目		3日目	
フラダンス用レイ作り	自然の漂流物でリース作り	体験した周防大島の魅力を発表	
			

【参加者の感想】

- みかん鍋を作ったり、みかんの収穫やジュースとジャムを作ったり等、普段体験できないことをツアーですることができた。友だちと積極的に話せるようになったから、学校でも生かしたい。
- 人のことを考えて行動することが大切だと思った。みんなと話することができるようになった。人との協力やつながりの大切さを改めて感じた。この経験を生かして、日頃から時間を守れるようにしたい。
- 仲間と一緒に考えて、行動して、感動できてうれしかった。協力とかをするのが苦手で、気が進まないこともあったけど、このツアーでそれをするこの楽しさを知ることができてよかった。